

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会

令和8年3月1日(日)発行

事務局

会報

北海道札幌琴似工業高等学校

〒063-0833

札幌市西区発寒13条11丁目

TEL 011-661-3253

FAX 011-661-3252

~~~~~ 巻頭言 ~~~~~

「高校教育改革の転換期における定通教育の充実に向けて」

～全教協北海道大会で定時制・通信制教育の未来を語り合いましょう～

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会長

(北海道有朋高等学校副校長) 入澤幸博

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会の会員の皆様におかれましては、日頃から定通教育の発展と充実に力強く取り組まれておりますことに、心から敬意を申し上げます。

また、本会の各種事業に深いご理解とご協力をいただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

さて、文部科学省は令和7年11月「高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン(仮称))骨子」を公表しました。この基本方針では、生産年齢人口の減少や地方の過疎化が一層深刻化していく中で、①AIに代替されない能力や個性の伸長、②経済や社会の発展を支える人材育成、③一人一人の多様なニーズに対応した教育機会・アクセスの確保、これら3つの視点で高校教育改革に取り組むことが示されています。

特に③の視点については、「高校のいずれの課程でも柔軟で質の高い学びの選択肢の保障が必要」とされており、定時制・通信制が果たす役割、その責任の大きさは言うまでもありません。

これまで定時制・通信制では、多岐にわたり生徒の学びの機会を保障し、個々の生徒の教育的ニーズに応じた教育活動や日本語指導が必要な生徒に対する体制整備に取り組み、大きな成果を挙げているところであり、今後も会員の皆様のお力がこれからの高校教育改革の大きな推進力となります。

このような高校教育を巡る大きな転換期に、「全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会教育研究協議会北海道大会」が本年7月に札幌市を会場に開催される運びとなり、本会が中心となって準備・運営を担うことになりました。全国から、定時制・通信制高校の副校長・教頭が北海道に集い、まさに高校教育改革の実現に向けて意見交換できることは、まさに時宜を得た貴重な機会であります。

会員の皆様におかれましては、定時制・通信制教育の一層の充実に資するため、北海道大会の準備や運営にご協力を賜りたく、心からお願いを申し上げます。

結びになりますが、本会の活動にご理解とご協力を賜りました全ての関係者の皆様に、心から感謝申し上げ、会報の発行にあたってのご挨拶といたします。

定時制・通信制教育のさらなる深化に向けて

北海道高等学校長協会 定通部会長

(北海道有朋高等学校長)

阿部 穰

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会の皆様には、日頃より本道高等学校の定時制・通信制教育の充実にご尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

社会の急速な変化に伴い、生徒一人一人の学びを支える定時制・通信制教育の役割は、ますます重要性を増しています。多様な背景を持つ生徒が、自らの可能性を広げ、確かな学力と社会性を身に付けるためには、学校現場の不断の工夫と挑戦が欠かせません。

北海道教育委員会が推進する「定時制・通信制パワーアップ事業」は、こうした課題に応えるための大きな支えとなっています。本年度も、研究主題「ICTの効果的な活用による、学びの質の向上とコミュニケーション能力の涵養」のもと、本事業を活用した取組が展開されました。今回、北海道高等学校長協会定通部会が刊行した『研究と活動』第52号では、函館工業高校定時制による特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実、有朋高校通信制によるICTを活用した教育相談の支援体制の充実について、それぞれ紹介しています。

また、特色ある実践として、滝川高校定時制による定通併修の取組やコミュニケーション能力の育成を目指す特別活動の推進、室蘭栄高校定時制による教育振興会と連携した様々な取組の推進について、それぞれ掲載しています。合計4校の実践いずれも、定通教育の可能性を広げる取組として、他校の参考になるのではないかと思います。

これからの定時制・通信制教育には、時代の要請に応じたさらなる深化が期待されます。AIやデータ活用を含むICT技術の進展に伴い、新たな学びの形を模索する中で、生徒一人一人が自らの可能性を最大限に発揮できる教育環境を提供していくことがますます重要となり、関係各位の熱意と創意工夫が、このことを実現する大きな原動力となります。柔軟で包摂的な教育のモデルとして、定通教育は社会における学びの多様性を支える重要な役割を担っています。私たちは今後も研究と実践を重ね、より良い学びの場を創造していかなければなりません。

今後とも、教頭・副校長会と校長協会が連携し、各校の教育活動の発展に貢献することができるよう努める所存です。共に手を携え、定時制・通信制教育の充実・発展に力を尽くして参りましょう。

最後になりましたが、本部会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、発刊に当たっての挨拶とさせていただきます。

【令和7年度(2025年度)事業報告】

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会 事務局長
北海道札幌琴似工業高等学校 教頭 千葉 智 寛

日頃から事務局の活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度の事業は皆さまのおかげを持ちまして、予定されていた事業をほぼ滞りなく実施することができました。心より感謝申し上げます。

● 北海道の事業報告

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和7年 5月16日(金)	◆北海道高等学校教頭・副校長会定通部会理事 総会・研究協議会	オンラインによる理事総会・研究協議会 配信校 北海道札幌南高等学校 内容 R6事業・会計報告、R7事業計画、予算案審議 研究協議 (出席者:34名)
2	5月16日(金)	◆北海道高等学校定時制通信制体育連盟幹事会	オンラインによる幹事総会 配信校 北海道札幌南高等学校 内容 R6報告事項、R7事業計画、予算案審議 当番校 札幌大通高等学校 (出席者:34名)
3	6月2日(月)	◆北海道高等学校定時制通信制教育振興会総会・ 研究協議会	内容 総会、表彰、研究協議 当番校 北海道有朋高等学校(出席者:60名)
4	8月8日(金)	◆第57回北海道高等学校給食研究協議会北海道 大会	内容 講演、研究協議 当番校 北海道札幌北高等学校
5	10月7日(火)	◆第68回北海道高等学校定時制通信制生徒 体験発表大会	内容 生徒生活体験発表(札幌市「かてる2.7」) 当番校 北海道札幌月寒高等学校
6	令和8年 3月上旬	◆令和7年度調査研究部報告書発行 ◆「会報」発行	内容:調査研究 「道立高等学校唯一の通信制課程の実態について」

● 全国の事業報告

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和7年 5月7日(水) ～8日(木)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 校長並びに教頭・副校長研究協議会	盛岡市 岩手県立杜陵高等学校 出席者 なし
2	6月6日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第1回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター 出席者 部会長
3	6月12日(木) ～13日(金)	◆第77回全国高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会(全通研大会)	高松市 レクザムホール(香川県立ミュージアム) 出席者 有朋高校から 計8名
4	7月24日(木) ～25日(金)	◆第76回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 総会・教育研究協議会(全教協大会)	奈良市 奈良春日野国際フォーラム麓～I-RA-KA～ 出席者 支部長、発表者(有朋高校) 事務局長、全国視察1名 計4名
5	8月7日(木) ～8日(金)	◆第76回全国高等学校定時制通信制教育振興会大会 (全振大会)	岐阜市 ホテルグランヴェール岐山 出席者 有朋高校から1名
6	8月	◆令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会	各競技代表出場 場所:東京都他
7	10月3日(金) ～4日(土)	◆東北・北海道地区高等学校通信制生徒生活体験発表 会	札幌市 札幌市男女共同参画センター(予定) 当番校 星槎国際高等学校 出席者 有朋高校から 2名
8	10月23日(木) ～24日(金)	◆令和7年度第77回東北・北海道地区高等学校通信制 教育研究会総会・研究協議会(青森大会)	八戸市 ハ戸プラザホテル 出席者 有朋高校から 計6名
9	11月16日(日)	◆第73回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会	東京都 六本木ヒルズハリウッドプラザ 出場者 北海道滝川高等学校 1名 北海道旭川東高等学校 1名
10	12月4日(木) ～5日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 教頭・副校長研究協議会	秋田県 秋田県立秋田明徳館高等学校 出席者 部会長
11	12月12日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第2回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター 出席者 部会長・副部会長

【 支部だより 1 】

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会

道南支部長

北海道函館中部高等学校 教頭 高橋 敏史

1 道南支部の概況

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会道南支部は、北海道函館中部高等学校、北海道函館商業高等学校、北海道函館工業高等学校の3校で構成されています。

今年度も次のような活動に取り組みました。

なお、支部事業として3校合同で実施していた講演会は今年度からなくなりました。

2 支部事業

○ 令和7年度渡島地区高等学校定時制教育研究会総会並びに教育研究会

本研究会は渡島地区高等学校の定時制教育の振興と会員の資質向上を目的として、毎年11月に開催しています。

開催日 令和7年11月27日(木)

会場 函館工業高等学校

内容 3校の共通の課題解決に向け外部講師を招いての研究協議

講師 北海道教育大学函館校
教授 佐藤 香織 氏

講演 「日本語を母語としない児童・生徒への日本語学習支援及び進路決定における課題について」

外国人や外国にルーツを持つ生徒の昨今の増加を受け、研究や関係機関・学校等への支援・助言を行っている先生から、高校等における実態や問題点、当該生徒の困り感とその解消・解決に向けた対応策や留意点などについて、事例をもとに具体的な解説をいただきました。その後、実際の指導の場面を想定したグループワークを行い、各グループのまとめを発表し、先生から講評のコメントをいただいて有意義に研修を終えました。

3 支部関連事業

(1) 令和7年度渡島地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

開催日 令和7年9月12日(金)

会場 函館市芸術ホール

参加数 函館中部高校 3名
函館商業高校 1名

函館工業高校 3名

結 果

最優秀賞 函館中部高校(全道大会出場)

優 秀 賞 函館商業高校

優 秀 賞 函館工業高校

優 秀 賞 函館中部高校

渡島地区大会は、各校から選ばれた7名の生徒が参加し、渡島教育局、函館市高等学校定時制教育振興会、北海道新聞函館支社から審査員を派遣いただき、3校の生徒に加え保護者や家族も駆けつける中で、思いのこもった発表がなされました。

(2) 令和7年度北海道高等学校定時制通信制体育大会渡島支部大会

ア 卓 球

期 日 令和7年5月28日(水)

会 場 北海道函館商業高等学校

結 果

○男子団体優勝 函館中部高校

○男子個人優勝 函館商業高校

○女子個人優勝 函館中部高校

イ バドミントン

期 日 令和7年5月29日(木)

会 場 函館アリーナ(サブアリーナ)

結 果

○男子団体優勝 函館商業高校

○女子団体優勝 函館中部高校

○男子個人優勝 函館商業高校

○女子個人優勝 函館中部高校

4 まとめ

定時制が、働く青少年の学びの場から、疾病や特性、家庭環境や友人関係等を要因とする不登校、また、それに伴う転編入学の受け入れ先として、様々な事情を抱えた生徒の学びの場へと変化してから久しくなります。このような状況で、個に応じた合理的な配慮の要請に丁寧・適切に応え、生徒が今後ますます減少していく中で教育活動の充実を図り、個別最適化の学びに向けた対応等々の課題解決に向けて、今後とも3校間の合同研究会・研修会や情報交流をとおして学び合い、新たな気づきを得る機会として活動を続けていく所存です。

【 支部だより2 】
北海道高等学校教頭・副校長会定通部会
道北支部長
北海道旭川商業高等学校 教頭 道 添 昌 規

1 道北支部の概況

当支部は、北海道高等学校長協会の後援を得て研究協議会を開催し、高等学校定時制教育に関する諸課題の解決、教育活動の充実に向け、調査、研究及び情報共有を行っています。

会員校は、旭川東高等学校、旭川北高等学校、旭川工業高等学校、旭川商業高等学校、士別東高等学校、幌加内高等学校、稚内高等学校の7校で構成されています。

研究協議会は、本年12月9日に行われ、定通体連大会、定通振興会、生活体験発表大会等の事業報告、ならびに事務局、当番校の確認を行い、協議内容に基づいた各校の実践報告を持ち寄って研究協議を進めました。講師として上川教育局高等学校教育指導班主査三上真未様をお迎えし、特別支援教教育に係る課題の解決、教頭としての学校運営に関わる指導力の向上を図りました。

2 支部関連事業

(1) 令和7年度 北海道高等学校定時制通信制体育連盟上川支部大会

ア バドミントン (男・女)

支部大会 5月23日 (土)

当番校 北海道旭川東高等学校

結 果 男子優勝 団体 旭川工業
個人 旭川工業
女子優勝 個人 旭川北

イ 卓球 (男・女)

支部大会 5月23日 (土)

当番校 北海道旭川北高等学校

結 果 男子優勝 団体 旭川工業
個人 旭川工業
女子優勝 団体 士別東
個人 旭川東

ウ バスケットボール (男)

参加1校 旭川工業

(2) 第69回道北地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

期 日 令和7年9月12日

事務局 北海道旭川北高等学校

結 果 最優秀賞 (全道大会出場)

北海道旭川東高等学校・1年女子
「わたしが、はじまる」

優秀賞

北海道幌加内高等学校 1名

北海道旭川北高等学校 1名

3 まとめ

道北支部の各定時制では、生徒が抱える課題は多種多様です。入学当初からアルバイト等の仕事に従事する生徒の割合は減少していますが、夜間定時制全体では依然として働きながら学ぶことを目標とする生徒が多い実状は続いています。また、中学校で不登校を経験している生徒も多く在籍しており、新しい環境で新たなつながりを得ようとする様子が見て取れます。また、他校の高等学校へ入学後、進路変更により転編入学する者など、さまざまな遍歴を持つ生徒が数多く在籍しており、各校では、個に応じた指導の充実を図ろうと精力的に教育活動を行っています。

また、課題として、特別な配慮を必要とする生徒の入学も増えている現状があり、教員個々による研修等に加え、各校の実践事例等を共有できる研究協議会の重要性は、高まっています。

道北支部での情報共有を図るとともに、各校での特色を生かしながら、地域の発展に貢献できる人材を育成し、より一層の定通教育の発展を目指してまいります。

【 支部だより3 】
北海道高等学校教頭・副校長会定通部会
胆振支部長
北海道室蘭栄高等学校 教頭 加藤 明人

1 胆振支部の概況

当支部は、苫小牧東高校、苫小牧工業高校、室蘭栄高校の3校で構成されており、少数ながら各校の特色を生かし、また連携を強めて教育活動を推進しています。

定通体連や生活体験発表等の各大会や連携会議など、3校間において相互に協力しながら活動しています。

2 支部関連事業

(1) 令和7年度 北海道高等学校定時制通信制体育連盟胆振支部

ア バドミントン

期 日 5月24日(土)
当 番 校 北海道室蘭栄高等学校
出 場 校 男子団体1校・男子個人1校
女子個人1校
出場生徒 男子4名・女子3名
結 果 男子優勝：団体 室蘭栄
個人 室蘭栄
(全道大会代表3名)
女子優勝：個人 室蘭栄
(全道大会代表3名)

出場校は室蘭栄の1校でしたが、短い放課後の少ない練習時間の中で、できる限り鍛え上げた力と技を遺憾なく発揮して、全力プレーで闘志あふれる勇姿を見せてくれました。

イ 柔道

代 表 男子個人 苫小牧工業(1名)
久しぶりに胆振支部から柔道で出場し、全国大会へ出場しました。全国大会では3回戦まで勝ち進む素晴らしい活躍でした。次年度以降の活躍にも大いに期待します。

(2) 令和7年度 胆振地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

期 日 9月12日(金)
当番校 北海道苫小牧工業高等学校

結 果 最優秀賞

北海道室蘭栄高等学校
4年 「私の努力」

優 秀 賞

北海道苫小牧工業高等学校
1年 「新しい環境で見つけた成長の一步」

北海道苫小牧東高等学校
2年 「周りから学んだこと」

3校6名の生徒が出場し、堂々と発表を行いました。つらい経験や困難があったとしても、前向きな姿勢や未来への希望が語られ、聞き手の共感を呼ぶ発表となりました。

3 特別支援教育地域連携会議

苫小牧東高校が中心となって胆振支部の3校が連携し、特別支援教育について複数回の地域連携オンライン会議と講演会を実施しました。各校の校長・教頭・特別支援コーディネーター・HR担任・養護教諭等が参加して、特別支援教育の現状と課題について発表し合い、知識を深め合いながら今後の教育活動に役立てていくことを目標として、活発に意見交換を行いました。各校の特別支援教育の実際について知るとともに、インクルーシブ教育を前向きに捉え、可能かつ有効的な対策や指導と評価の一体化等について事前に検討できる有意義な機会になりました。

4 まとめ

学習や友人関係・家族などを要因として不登校経験や体調不良を抱え、定時制高校での学び直しを期待して入学してくる生徒が大半を占めるようになりました。その要因も多様化する中、生徒のニーズも多様化していますが、高校の役割として、入学する生徒が持つ期待に応え、在学中に少しでも多くのことを学び、自己有用感を醸成して自己肯定感を上げて高校を卒業することができるように努めることが重要です。

今後とも、胆振支部の定時制高校3校が協力を惜しまず深く連携し、生徒が求め必要とする望ましい教育の提供のために研鑽を重ねて、自立した人生を歩む力を身に付ける生徒を育成する高校として尽力していきます。

北海道高等学校定時制通信制体育大会報告
北海道高等学校定時制通信制体育連盟事務局長
市立札幌大通高等学校 教頭 杉山 雅俊

令和7年度の事業につきまして、当番校をはじめ、関係各位のご尽力により、すべて滞りなく終えることができました。各支部事務局校をはじめ、当番校、専門委員の皆さまにおかれましては、春季支部大会、全道大会、秋季新人戦まで円滑に運営していただき、改めて心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今年度の北海道大会及び全国大会の成績につきましては、定通体連事務局の Web サイト(市立札幌大通高等学校 Web サイト内)に掲載(<https://www.odori-h.sapporo-c.ed.jp/>)しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

今年度も北海道チームの活躍が目覚ましく、団体ではバスケットボール男子で北海道ニセコ高校がベスト16、バレーボール男子で市立札幌大通高校、北海道ニセコ高校がベスト8。個人ではバドミントン女子シングルスで荒川暖奈さん(旭川東)が第3位、卓球女子で伊東美茜さん(有朋高校)がベスト8、陸上男子走り幅跳びで丹波秀斗さん(星槎国際帯広)が第3位、陸上女子走り幅跳びで若林梨恋さん(北海道ニセコ高校)が第2位となるなど、日々努力を重ねて精進した選手、そして指導にあられた顧問の皆様、心より敬意を表します。

道内では生徒数が減少し、それに伴う教員数の減少により、大会の運営が困難な状況もありますが、ご理解・ご協力をお願いする次第です。また、定時制通信制体育連盟の大会では記録や勝敗にこだわらず、スポーツを愛する心や目標に向かって挑戦すること、お互いの健闘をたたえあうことを標榜してきました。この理念のもと、健全な青少年育成を目指し、引き続き各校での部活動へのご指導・ご協力をお願い申し上げます。

今年度も大変お世話になりました。次年度も、よろしくお願ひします。

第57回北海道高等学校給食研究協議会
理事総会・研究協議会及び北海道大会報告
北海道札幌北高等学校 教頭 堀 智博

令和7年8月8日(金)に第57回北海道高等学校給食研究協議会理事総会・研究協議会及び北海道大会が北海道札幌北高等学校にて開催され、全道から多くの給食担当者が参加した。

1 理事総会・研究協議会

(1) 報告事項

- ア 令和7年度活動計画及び中間報告
- イ 令和11年までの役員構成輪番の確認
- ウ 令和11年までの研究発表地区輪番の確認

(2) その他

- ア 給食研の活動について(意見交換)

2 第57回北海道大会

(1) 講演

講師

真駒内キッズクリニック
小児アレルギーエデュケーター・
アレルギー疾患療養指導士
日本渡航医学界認定医療職看護師
大竹 由香穂 氏

演題

「知っておいて欲しいアレルギー対応について
～食の幅の狭さから来る生きづらさの解消を目指して～」

要旨

食べ物に関するアレルギーの現状を知り、緊急時対応と備え方を学んだ。(エピペン使用の実演と、症状チェックシート)。

また、学校給食が支える生徒の健康について医療の立場から提言がなされた。

(2) 研究発表

発表 北海道釧路工業高等学校

教頭 坂野 裕悦 氏

テーマ 『釧路工業高校の給食状況と課題』

要旨 釧路工業高校の給食の状況と指導の取組

(3) 研究協議

発表 北海道教育庁学校教育局健康・体育課学校給食振興・指導係

主査 三好 明子 氏

テーマ 『衛生管理の充実』

要旨 学校給食衛生管理のポイントについて

**第69回北海道高等学校定時制通信制生徒
生活体験発表大会報告**
北海道札幌月寒高等学校 教頭 大野直也

第69回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会は、令和7年10月7日(火)、北海道立道民活動センターかでの2・7にて開催いたしました。関係各位の多大なるご指導とご協力を賜り、盛会裡に終了できましたことを心より感謝申し上げます。

当日は、全道9支部の定時制高等学校から10名、通信制高等学校から1名、さらに当番校枠として本校から1名、計12名の代表が出演し、それぞれの貴重な体験を発表しました。いずれも秀逸な内容であり、審査は困難を極めました。

その中で、「できない自分も、過去に悩んできた自分も、全部を受け入れていい。」と、自己受容に至るまでの道のりを静かに語り、会場に深い共感を広げた滝川高等学校の千葉萌楓さん、そして「恐れより挑戦を選べる自分でありたい。」と、これからの歩みに向けた揺るぎない決意をまっすぐに示した旭川東高等学校の齋藤希望さんの2名が道代表に選出され、全国大会への出場権を獲得しました。

また、すべての発表は、参観した定時制・通信制の生徒、ならびに当番校として運営に携わった本校生徒・教職員に大きな感動を与えるものとなりました。

審査委員長である札幌琴似工業高等学校長川村広幸様をはじめとする5名の審査委員の皆様からは、教育的愛情あふれる講評をいただき、厳正かつ慎重な審査のもと各賞が決定いたしました。ここに改めて御礼申し上げます。

本大会の詳細につきましては、令和8年2月に全道の定時制・通信制高等学校へお届けした「輝く青春」第59集に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

最後になりますが、ご協力を賜りました関係各位ならびに全道で定通教育に携わっておられるすべての皆様に深く感謝申し上げ、報告とさせていただきます。



【開会式】



【発表の様子】



【表彰式】



【全体写真】

【 調査研究部発表 】

道立高等学校唯一の通信制課程の実態について

定時制通信制部会調査研究部長

(北海道有朋高等学校) 小笠原 淳 互

I はじめに

令和3年1月の中央教育審議会答申において、「ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備により『個別最適な学び』と『協働的な学び』とを一体的に充実すること」を目指すことが示された。本答申においては、学校の役割が再認識され、居場所・セーフティネットとして福祉的な役割をも担っていることが指摘されている。定時制課程及び通信制課程に通う生徒の特性や家庭環境等は多様化が進んでおり、特に、社会的機能、福祉的機能、セーフティネットとしての機能を強化して多様な学習ニーズに一層きめ細かく対応していくことができるよう、組織的かつ効果的にICTを活用した指導・評価方法の在り方等についての検討や方策を講じることが求められている。

これまでは、定時制課程における調査研究を多く取り上げてきたが、今年度は、昨年度に引き続き、道内の公立高等学校唯一の通信制課程である「北海道有朋高等学校通信制課程の実態」及び「道内の定通併修の状況」について着目し、調査研究を行った。

II 北海道有朋高等学校通信制課程の実態について

1 北海道有朋高等学校の概要

今年度で創立77年目を迎える北海道唯一の公立通信制高等学校であり、同じ校舎には定時制課程（道立高等学校唯一の三部制による完全単位制）と、離島や小規模の道立高等学校へ授業を配信している北海道高等学校遠隔授業配信センター（通称T-base）が併設されている。

2 通信制課程の概況（令和7年7月1日現在）

通信制課程の在籍生徒数は3,656名、受講率は74.3%で、令和2年度と比較して13.2ポイント上昇している。在籍生徒の半数以上の生徒は、全道各地にある32の協力校でスクーリング（面接指導）を受けている。

また、技能連携制度により高等専修学校2校（苫小牧・北見）で学んでいる生徒が298名、学校併修が13校77名、学校間連携（余市紅志高校）・一部科目履修で29名が在籍している。

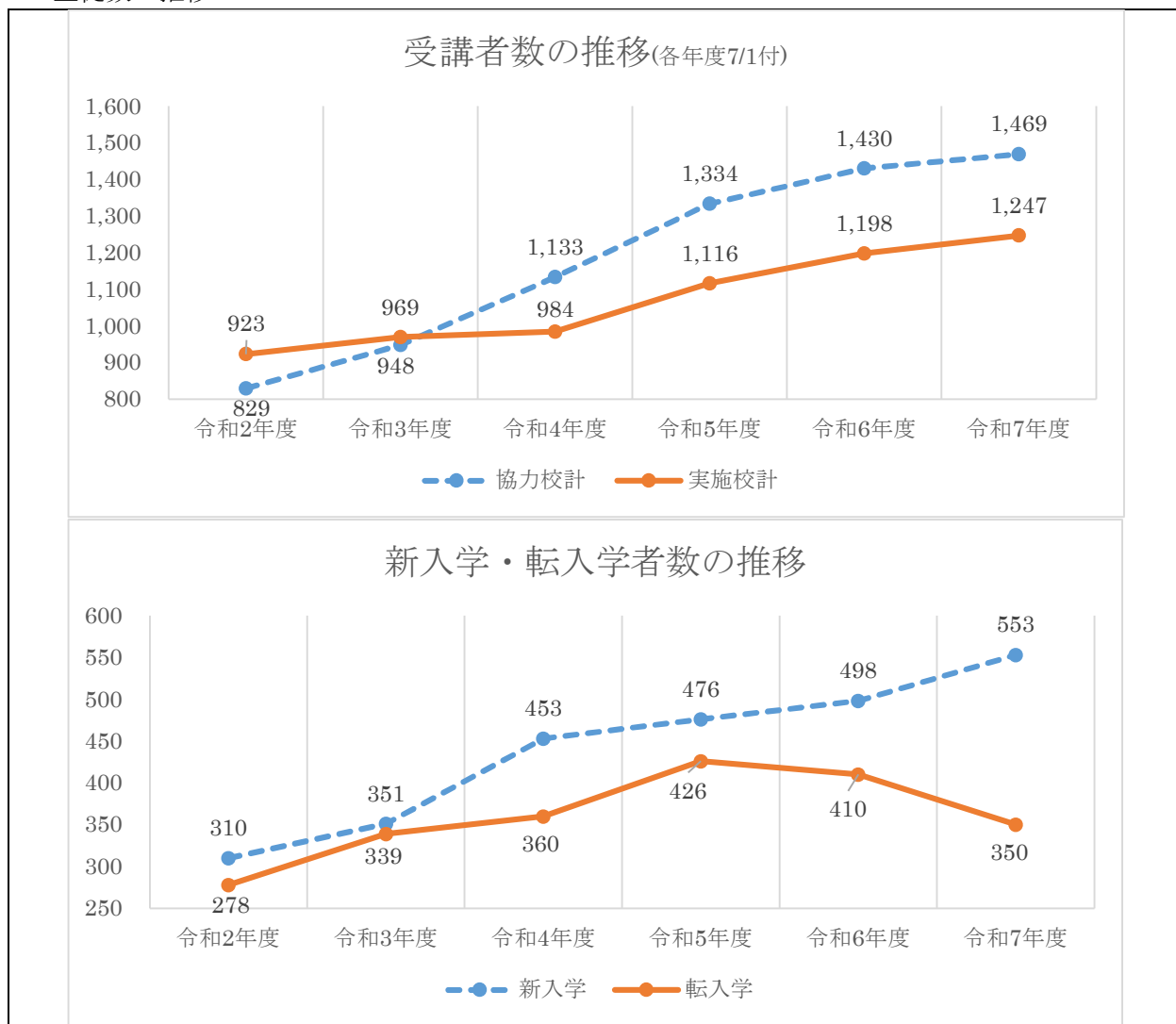
3 特色ある教育活動

- 技能連携教育の実施（技能連携校、定通併修、単通併修、学校間連携、科目履修）
- 32校の協力校体制（全国的にも稀な状況）
- 文部科学省研究事業「多様性に応じた新時代の学び充実支援事業」の実践（令和5～7年度）

4 進路状況

年度	卒業生数	大学		短期大学		通信制 大学・ 短大	看護学校	専門・ 専修	進学計	就職	進路 決定計
		国公立	私立	国公立	私立						
R4	410	4	33	0	3	5	1	57	103	38	141
R5	523	6	71	1	9	9	2	60	158	57	215
R6	619	3	55	0	11	21	6	90	186	68	254

5 生徒数の推移



6 実施校（札幌）における保健室の利用状況（スクールカウンセラーを含む）

(いずれも4～9月)

内訳 年度	内科	外科	メンタル	発達障 がい等	カウ ンセ リング	疾病・生 活面談	メンタル 面談	その他	合計
R 4	18	31	10	22	14	232	131	26	484
R 5	26	23	40	29	58	162	88	21	447
R 6	57	29	86	76	101	49	29	19	446
R 7	52	27	51	102	75	8	6	23	345

在籍生徒数及び要配慮生徒数の増加により、教育相談の業務が過多となっているなか、実施校においては、保健室担当教員4名、スクールカウンセラー3名（年間通算40時間（道費）に加え、文科省研究事業費により188時間配置し、全面接日で対応）、若者サポートステーションによる支援を通し、教育相談等の対応をしている。

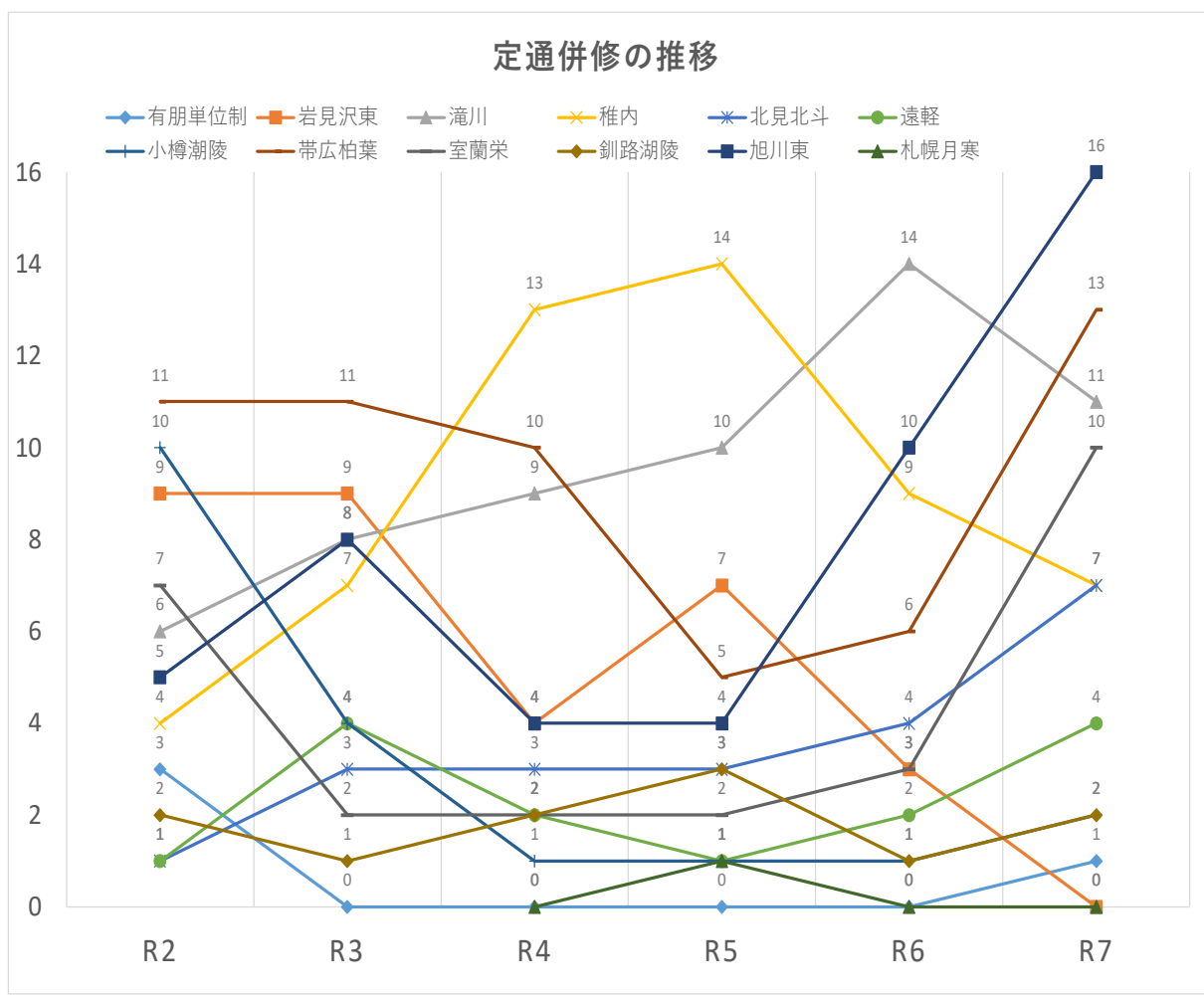
※カウンセリング実施件数が急増した要因には、令和5年度から令和7年度実施の文科省研究事業「多様性に応じた新時代の学び充実支援事業」により全面接日にスクールカウンセラーを配置したことによる効果も大きいと考える。

Ⅲ 道内の定通併修の状況について

1 定通併修の実施状況

※下線は個人併修の人数を加算

校名	R2	R3	R4	R5	R6	R7
有朋単位制	3	0	0	0	0	1
岩見沢東	9	9	4	7	3	0
滝川	6	8	9	10	14	11
稚内	4	7	13	14	9	7
北見北斗	1	3	3	3	<u>4</u>	<u>7</u>
遠軽	1	4	2	1	2	4
小樽潮陵	10	4	1	1	1	2
帯広柏葉	11	11	10	5	6	<u>13</u>
室蘭栄	7	2	2	2	3	10
釧路湖陵	2	1	2	3	1	<u>2</u>
旭川東	5	8	4	4	10	16
札幌月寒			0	1	0	0



2 定通併修の実施状況と有朋高校協力校との関係

支部名	学 校 名	R2～R7 定通併 修実施	有朋高校 協力校	支部名	学 校 名	R2～R7 定通併 修実施	有朋高校 協力校		
石狩 (12)	1	札幌東		空知 (3)	21	道立 岩見沢東	1	1	
	2	札幌西			22	滝川	1	1	
	3	札幌南			23	町立 天売			
	4	札幌北		道北 (7)	24	旭川東	1	1	
	5	札幌月寒	1		25	道立 旭川北			
	6	道立 札幌工業			26	旭川工業			
	7	札幌琴似工業			27	旭川商業			
	8	江別			28	市立 士別東			
	9	千歳			29	町立 幌加内			
	10	恵庭南			30	道立 稚内	1	1	
	11	有朋[単位制]	1	1	オホーツク (3)	31	北見北斗	1	1
	12	市立 市立札幌大通				32	道立 網走南ヶ丘		
				33		遠軽	1	1	
道南 (3)	13	函館中部	1	釧根 (2)	34	道立 釧路湖陵	1	1	
	14	道立 函館工業			35	釧路工業			
	15	函館商業		日勝 (2)	36	町立 日高			
16	道立 小樽潮陵	1	1		37	道立 帯広柏葉	1	1	
後志 (5)	17	道立 小樽未来創造		胆振 (3)	38	室蘭栄	1	1	
	18	町立 ニセコ			39	道立 苫小牧東		1	
	19	村立 真狩			40	苫小牧工業			
	20	留寿都							

- ・ 定時制課程を設置する道内 40 校のうち、13 校が有朋高校通信制課程の協力校となっている。
- ・ 令和 2 年度から令和 7 年度に定通併修を実施した学校 12 校のうち、協力校となっていないのは札幌月寒高校 1 校のみである。一方、有朋高校協力校のうち定通併修を行っていないのは、函館中部高校と苫小牧東高校の 2 校である。

IV まとめ

今年度は、道内の公立高等学校唯一の通信制課程である「北海道有朋高等学校通信制課程の実態」及び「道内の定通併修の状況」について調査研究を行った。

有朋高校通信制課程については、特に受講者数が引き続き増加傾向にあるが、入学者の内訳を見ると、新入学者数が増加する一方で、転入学者数は減少傾向となっていることが分かった。

定通併修に関しては、有朋高校通信制課程の協力校となっている高校における定通併修実施率が高いことが分かった。

令和 7 年度北海道高等学校定時制通信制教育振興会研究協議会において、北海道滝川高等学校による、定通併修を効果的に活用した教育実践が発表された。今後ますます求められる、多様な学習ニーズに対応すべく、定時制課程・通信制課程の効果的な連携が期待される場所である。

**【令和8年度(2026年度)事業計画(案)】 北海道高等学校教頭・副校長会定通部会 事務局長
北海道札幌琴似工業高等学校 教頭 千葉 智 寛**

● 北海道の事業計画 (案)

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和8年 5月20日(水)	◆北海道高等学校教頭・副校長会定通部会理事 総会・研究協議会	会 場 ライフォート札幌
2	5月20日(水)	◆北海道高等学校定時制通信制体育連盟幹事会	会 場 ライフォート札幌
3	6月1日(月)	◆北海道高等学校定時制通信制教育振興会総会・ 研究協議会	会 場 ライフォート札幌 当番校 北海道有朋高等学校
4	8月7日(金)	◆第58回北海道高等学校給食研究協議会北海道 大会	内 容 講演、研究協議 当番校 北海道札幌琴似工業高等学校
5	10月14日(火)	◆第69回北海道高等学校定時制通信制生徒 生活体験発表大会	会 場 札幌市教育文化会館 小ホール 当番校 北海道札幌南高等学校
6	令和9年 3月上旬	◆令和8年度調査研究部報告書発行 ◆「会報」発行	内容：調査研究「未定」

● 全国の事業計画 (案)

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和8年 5月8日(木)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 校長並びに教頭・副校長研究協議会	有朋高校
2	6月5日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第1回全国常任理事研究協議会(全教協理事 研)	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター
3	6月18日(木) ～19日(金)	◆第78回全国高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会(全通研大会)	熊本市
4	7月30日(木) ～31日(金)	◆第77回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長 協会総会・教育研究協議会(全教協大会) 北海道大会	札幌市 ライフォート札幌
5	8月4日(火) ～5日(水)	◆第77回全国高等学校定時制通信制教育振興会大 会(全振大会)	水戸市
6	8月	◆令和8年度全国高等学校定時制通信制体育大会	東京都他
7	10月1日(木) ～2日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制生徒生活体験 発表会	盛岡市 キオクシアアイーナ
8	10月22日(木) ～23日(金)	◆令和8年度第78回東北・北海道地区高等学校通 信制教育研究会総会・研究協議会(福島大会)	郡山市 ビックアイ
9	11月 日()	◆第74回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会	東京都 六本木ヒルズハリウッドプラザ
10	12月3日(木) ～4日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 教頭・副校長研究協議会	盛岡市 岩手県立杜陵高等学校
11	12月11日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第2回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター

【編集後記】

定通部会における広報部の業務につきまして、御理解と御協力とをいただき心よりお礼を申し上げます。おかげさまで、本年度の「会報」も無事発行の運びとなりました。編集発行にあたり、校務ご多用の中ご執筆いただきました校長協会定通部会長の阿部校長先生をはじめ、全道の副校長・教頭先生方にあらためて感謝申し上げ、編集終了の挨拶とさせていただきます。

〔北海道恵庭南高等学校 教頭 古瀬 径 二〕